



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和7年(2025年)4月30日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

コミュニティー・スクール開始

校長 内田 辰彦

4月26日に、今年度1回目の学校公開を行いました。大勢の保護者の方が学校に来ていただき、子どもたちの新しい学年での学校生活の様子をご覧いただきました。いつものように伸び伸びと学校生活を送っている様子を見ていただきましたが、それでも登校してくるときには、いつもよりは少し緊張した様子の子もいて、子どもたちなりに頑張っている姿を見てもらいたいと張り切っている気持ちが伝わってきました。

今年の1年生は新スタートカリキュラムの一環として、色別通学路を基本にした3つのグループで、4月はスタートし1か月過ぎました。家が近くの子が多くなるため、保育園が一緒の子がいたり、同じマンションの子と一緒にクラスだったりして、子ども同士のかかわりも例年に比べて多くなっていると感じました。また、学習時間を工夫し、小学校で標準の45分単位時間ではなく、15分間や22.5分間(45分間の半分)、30分間の長さで学習を計画し、始めは1年生の興味関心が途切れないように短い時間を組合せ、4月の後半は次第に長い時間でも集中が続くように配慮していきました。そのため、学習内容が教科書を使った内容になった現在でもよく集中して取り組んでいる子が多いと思います。5月からのクラス替えを見越して、3人の1年担任の先生が全てのグループを担当したり、4月の後半は子どもたちのグループを入れ替えたりして、全ての1年生の子どもと先生が慣れ親しめるようにしていきました。5月からは、1年1組、2組、3組と分かれて学校生活を送っていくこととなりますが、4月の成果を活かして滑らかな接続になることを期待しています。

また、26日の午後にはコミュニティー・スクールになって初めての学校運営協議会を開催しました。委員の皆様の互選により、会長・副会長も選出されました。今回は今年度の教育課程と学校経営計画について承認していただきました。本来は年度末に承認していただき、新しい年度の教育課程や学校経営がスタートしますが、今回だけは新制度のキックオフのため、第1回目に承認していただきました。保護者会の際にもお伝えしましたが、コミュニティー・スクールに伴って地域学校協働活動がスタートします。この活動は、保護者の方に限らず、広く地域の方にもご協力いただき、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。例えば、学校からお願いする様々な授業支援への協力や、学校施設を地域の方が活用して子どもたちも参加できる活動の企画・運営などが考えられます。これまでは、学年で授業支援に協力していただける方を学年だより等で協力依頼をしていました。地域学校協働活動では学年や内容を限定せず、何となく学校にかかわってみよう、ときには子どもたちの顔を見ながら参観日でない授業の様子を見てみよう、違う学年の様子を知りたいので参加してみよう、などをお考えの皆様に参加登録をしていただきます。登録していただいた方にはメール等で、各学年等の協力に関する情報をお伝えします。その中から参加したいもの、参加できるものについてのみご協力していただきながら活動をすすめていきたいと考えています。保護者会でもお伝えしたように、しゅくみを整えて1学期中には別途お知らせをまいります。ぜひ新しいコミュニティー・スクールのしゅくみについてご協力ください。



1年生を迎える会の様子